

「青天の霹靂」の追肥方法は？

追肥に関する Q&A

「青天の霹靂」は出荷基準が玄米タンパク質6.4%以下であると聞きました。この基準を守るため、追肥の量はどのように決めれば良いのですか？

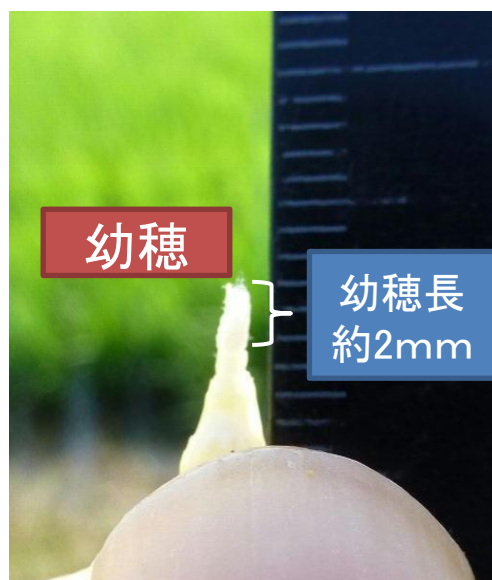
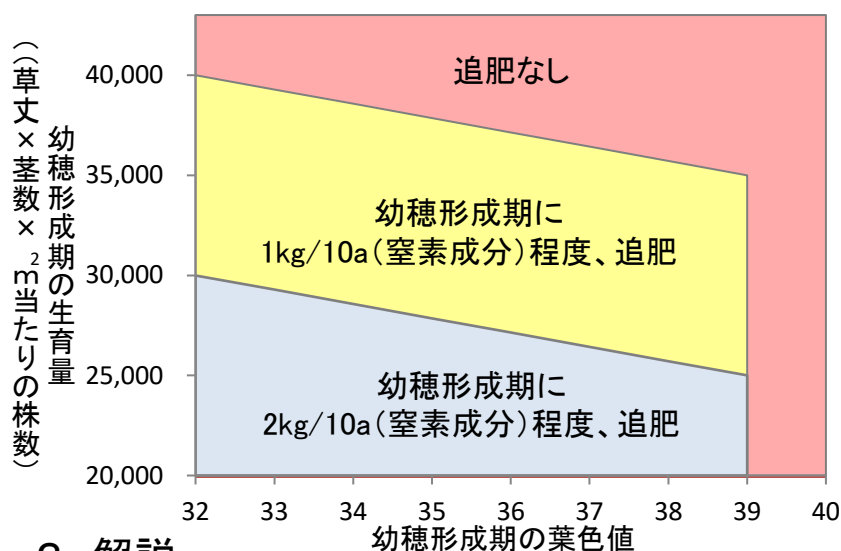
お答えします

1. 内容

- 追肥は幼穂形成期に行います。

※幼穂形成期：幼穂が2mmになった茎が水田全体の80%以上となった日

- 追肥量は幼穂形成期の生育量と葉色で決定します。



2. 解説

幼穂とは茎の中にある稲穂のもとになるものです。幼穂長が2mm以上になった茎が全体の80%以上になると「幼穂形成期」となります。

幼穂形成期の草丈、茎数、m²当たり株数を掛け合わせた生育量と葉色計かカラスケールで測定した葉色値で追肥量が決まります。

例えば、上の図で生育量35,000(縦軸)で葉色35(横軸)の場合、これらが交わる場所は「追肥量1kg/10a(黄色)」となり、これが追肥量となります。

関連情報

「つがるロマン」や「まっしぐら」では追肥量の決定の基準は異なります。幼穂形成期の生育をもとに決めるのは同じですが、生育量や葉色の基準が違うので注意してください。また、追肥の時期も違ってくるので、それぞれの品種の追肥基準を本研究所や普及所などで確認してください。